

日本ビクター寿会 横浜中央支部  
支部長 佐々木 一三 様

「なつかしき V9・13 に集う会」ご案内有難うございます。

常日頃、支部の行事に積極的に参加しておりませんが、定年後趣味で始めました天体写真に傾倒してまいりました。 実働 17 年の結果をこの度、写真集に纏め

「絶景・天空のイベント」

の題名で、無線と実験、子供の科学等でご存じの誠文堂新光社から出版されることになりました。ご参考までに一冊差し上げますのでご笑覧頂ければ幸いです。

2014 年 7 月 5 日発売の天文ガイド (8 月号) に 2 ページの見開きカラーで紹介されましたので併せてコピーを同封いたしましたのでご覧いただき度。

今回の催しにご紹介させて頂けると有難いと思っておりましたが午後、先約があり参加できませんので、次回支部の会合のおりにでもできればと思っております。

天文写真集と言っても私の撮りためたものですが、過去 13 年間にわたり所属の千葉天体写真協会と柏市で行って来ました「星の写真展」で皆様方からいろいろご好評を頂き、仲間からも写真集にでも纏めたらと薦められ、発刊にこぎつけたものです。発売は基本的には amazon からのネット販売ですが、幅広い層の方々に観て頂きたいと思っておりますので、この写真集を観て頂き、よそ様にも紹介して頂ける場合はいつでも、どこへでも出かけて多くの方に見て頂くお手伝いなどさせて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

以下は蛇足でございますが、私の仲間に出しました文章の一部ですがご参考までに

天文台、科学館、プラネタリウムなど天文ファンの多くお集まりになる場所などは大歓迎です。

医療関係の方には病院の待合室、老人ホームの憩いの場所等に置いて頂き、オーロラとか 日食を観に行かれない方々に癒しの世界をご覧になって頂きたいと思っております。

学校の図書館に置いて頂き、 小学校、中学校、高校、大学の若い方々にもこのような素晴らしい世界を見てもらいたいと思っております。現在の宇宙飛行士の方々が志を立てられたのは皆小学校低学年から中学生のころと聞いております。早すぎることはありません。 お子様にも、お孫様にも見せてあげてください。

旅行会社主催の天文撮影ツアーも多くなっております。女性は殊の外 オーロラ に関心が高いようですが、見に行くならここ2~3年が見ごろです。-20°、-30°の極寒の頃でなく8月末から9月末ごろだと東京の冬姿で見に行くことが出来ます。多くの事例が出ております。

皆既日食は3年後に晴天率のいいアメリカ西海岸で夏休みの8月に好条件で見ることが出来ます。まだ3年あります。どの様に日食を楽しめばいいのか写真集を参考にどうぞ。

月食は今年の10月8日、日本中で夜の早い時間帯に見られます。機材も良くなってきました。流星も明るい都会でも写りますし、星雲星団なども写せるようになってきております。

更に近年、定年を迎えられる方が多くなり、第2の人生をどう生きていくかの一つの例として見て頂ければとも思っております。体力の維持は基本ですが、多くの方と接触する時間を持ち、何にでも興味を持つことで頭の体操にもなり、心身共に健全に過ごせて初めて老化を少しでも遅らせることが出来るのではないのでしょうか。日食とかオーロラ、流星などの撮影ツアーで仲良くなりました多くの若い方々と今も交流が出来ているのはこの上ない喜びです。

最初から写真集を作ることなど考えてもいませんでしたが、プロでもない私が何とかこのようにまとめることが出来たのも多くの方々の日頃のご援助の賜物と深く感謝しております。天体望遠鏡は昼間使えば望遠レンズにもなりますし、天文に偏らなくても昼間は鳥や、花、神社仏閣などの撮影にも使えますので楽しめます。逆に今お手持ちのカメラを空に向けて頂きますと私が写していましたこのような世界が楽に写せる時代になっております。

今後とも、今までと変わらぬご厚誼のほどよろしくお願い致します。

平成 26 年 8 月 吉日 山崎 四明